

<実務経験証明書 記入例>

様式第1号

実務経験証明書

下記の防水工事に係る受講申請者の実務経験の内容は、下記のとおりであることを証明します。

証明者：東京都△△区XXX〇丁目〇-〇

防水建設株式会社 会社印(※角印)

代表取締役 漏水改修 法人代表者印(※丸印 必須)

2025年 8月 10日

受講申請者の 氏名	防水太郎	証明者との関係	社長と社員
使用者の 名称	防水建設株式会社	(受講申請者の) 生年月日	昭和53年4月1日

職長欄	実務経験の内容	作業内容	実務経験年数
	老人ホーム〇〇園新築防水工事他3件	現場施工	2010年8月～2010年11月
	〇〇区立〇〇小学校改築工事他2件	現場施工	2010年11月～2010年12月
職長	〇〇健康センター屋根防水改修工事他1件	現場施工	2011年1月～2011年3月
職長	〇〇乳児院新築防水工事他1件	現場施工	2011年4月～2011年4月
職長	〇〇団地大規模修繕工事他3件	現場施工	2011年5月～2011年7月
職長	〇〇製油所新築屋根防水工事他1件	現場施工	2011年8月～2011年9月

※裏面につづく

⑤裏面に表面の続きを記入

職長	〇〇製油所新築屋根防水工事他1件	現場施工	2025年4月～2025年7月
☆裏面の下段には、実務経験の合計年数と職長経験の合計年数を必ず記入すること			合計 15年 0月
			(うち職長経験) 14年 7月

誓約欄 この証明事項に事実と相違がある場合には合格を取り消されても異存のないことを誓約いたします。

氏名

【①】：受講申請者が事業主の場合、受講申請者が証明者となって自らの実務経験を証明できます。→【⑧】参照。
この場合、証明者との関係欄は「申請者本人」と記入します。

【②】：裏面記入欄も使い、実務経験年数10年以上、職長経験年数3年以上あることを証明してください。
全ての実務経験を記入する必要はありませんが、少なくとも1年につき2工事以上を記入してください。裏面でも不足する場合は、裏面をコピーして使用してください。

転職を含めて実務経験が10年の方は、前の会社の代表者証明は必要ありません。転職前・現在いる会社の実務経験を合算して記入し、現在の事業主が証明してください。

【③】：雑務や事務的作業でないことを証明する作業内容を記入。「防水施工」なども可。

【④】：10年以上工事に従事していることがわかるように記入してください。

【⑤】：職長として従事した工事には職長欄に「職長」と記入してください。

【⑥】：表面と裏面記載の実務経験の合計年数は必ず10年以上となること。

【⑦】：表面と裏面記載の職長経験の合計年数は必ず3年以上となること。

【⑧】：証明者と受講申請者が同一（一人親方など）となる場合は、誓約欄に署名捺印してください。（法人印ではなく、私印の捺印です。）